

## 第2章 にいみ遺産の概要

### 1. 指定等文化財の概要

令和7年8月現在の本市の指定等文化財は167件です。内訳は、国指定6件、県指定18件、市指定140件、国登録3件です。種別では、動物・植物・地質鉱物（天然記念物）が54件と最も多く、続いて建造物39件、遺跡（史跡）21件です。文化財の保存技術の選定はありません。

特に、動物・植物・地質鉱物（天然記念物）が全体の3分1を占めることは、全国的にも稀有で特徴的な地質を有することや自然豊かな中山間地域に位置すること、また地域の人々が生活の一部として大切に守ってきたことによります。

表2-1 指定等文化財の件数

令和7年8月現在

類型		国			県	市	計
		指定・選定	選択※1	登録	指定	指定	
有形文化財	建造物	0	—	3	11	25	39
	絵画	0	—	0	0	3	3
	彫刻	1	—	0	0	12	13
	工芸品	0	—	0	0	9	9
	書跡・典籍	0	—	0	0	1	1
	古文書	0	—	0	0	4	4
	考古資料	0	—	0	0	3	3
	歴史資料	0	—	0	0	0	0
	無形文化財	0	0	0	1	1	2
民俗文化財	有形の民俗文化財	0	—	0	0	2	2
	無形の民俗文化財	1	(1)※2	0	2	12	15
記念物	遺跡（史跡）	0	—	0	2	19	21
	名勝地（名勝）	0	—	0	0	1	1
	動物・植物・地質鉱物（天然記念物）	4	—	0	2	48	54
文化的景観		0	—	—	—	—	0
伝統的建造物群		0	—	—	—	—	0
計		6	(1)	3	18	140	167

「—」は制度がないことを示す

※1 無形文化財、無形の民俗文化財のうち、記録作成等の措置を講ずべきもの（いわゆる国の記録選択）として、文化庁長官により選択されるもの。

※2 市指定の倉嶋神社の「宮座」は記録作成等の措置を講ずべき無形の民俗文化財にも「千屋代城のとうや行事」として選択されているため、表中では（ ）としています。

## ○有形文化財

国・県・市指定合わせて、建造物（石造美術を含む）が39件、絵画3件、彫刻13件、工芸品9件、書跡・典籍1件、古文書4件、考古資料3件です。また国登録有形文化財（建造物）3件があります。

建造物は、荒戸神社本殿、三尾寺本堂の2件が室町時代と戦国時代の建造物で、県指定です。江戸時代以降の建造で、備中松山藩主水谷家由縁の法華山

観音堂、圓通寺山門、地域の人々によって建立された

薬師堂などが市指定重要文化財に指定しています。石造物は、鎌倉時代の造立てで、県内において古い年号をもつ矢田石仏や石造薬師三尊像<sup>※1</sup>、南北朝時代で和泉砂岩製・同形式の石造延命地蔵等<sup>※2</sup> 4軀などが県指定重要文化財に指定されています。また、石灰岩を使用した石造石蟹五輪塔、石造觀音寺五輪塔などの南北朝時代以降の石造物が市指定重要文化財に指定しています。

国登録有形文化財は、江戸時代の庄屋の建造物である戸田家住宅主屋や農・林業、とくに畜産業で財を成して建てられた明治時代の竹本家住宅主屋、竹本家住宅長屋及び米蔵があります。

絵画は、江戸時代に描かれた四王寺の両界曼荼羅や、善江院が所有する涅槃図、天王八幡神社の拝殿鴨居に掛けられた三十六歌仙の絵馬が、市指定重要文化財に指定しています。

彫刻は、三尾寺の本尊である木造千手觀音両脇侍像<sup>※3</sup>が国指定です。その他に、鎌倉時



写真2-2 梵鐘（清渡寺）【市】

代以降の金光寺・松雲寺・湯川寺・長楽寺所有の阿弥陀如来座像や祥光寺所有の如意輪觀音座像、杉戸神社本殿の飾彫りなどが、市指定重要文化財に指定しています。

工芸品は、室町時代の岩山神社所有の神額や、日咩坂鐘乳穴神社所有の薙刀（国重）、大太刀（国重）、太田辰五郎と関係深い藤原直胤が作刀した千屋神社所有の長巻（直胤）、そのほか、備中松山藩10代藩主板倉勝武が寄進した済渡寺の梵鐘や豊福寺の鰐口などが市指定重要文化財に指定しています。

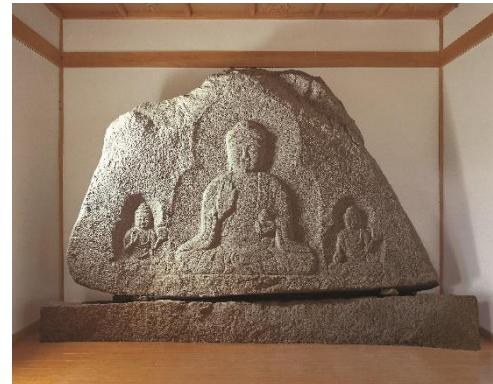


写真2-1 石造薬師三尊像【県】

書跡・典籍は、江戸時代の高札（制札）が市指定重要文化財に指定しています。

古文書は、すべて本市所有で、江戸時代の田畠などを記録した元禄検地帳や新見藩主の関家と外戚関係にあたる津山藩主・森家の記録である森家先代実録、新見藩用人の家に伝わった渡邊家文書と梶並家文書が市指定重要文化財に指定しています。

考古資料は、弥生時代後期の横見墳墓群出土品一括や古墳時代後期の横見古墳群出土品一括、環頭柄頭が市指定重要文化財に指定しています。



写真 2-3 環頭柄頭【市】

※1 県指定名称は石造薬師三尊像ですが、地域では石堂薬師三尊像と表記・呼称しています。

※2 県指定名称は石造延命地蔵（3 耘）と石造延命地蔵菩薩立像（1 耘）ですが、地域では、前者を朝間地蔵、昼間地蔵、段の腰折地蔵、後者を夕間地蔵と表記・呼称しています。

※3 木造千手観音坐像及び両脇土立像の 3 耘を合わせた名称です。

## ○無形文化財

無形文化財は、県・市指定文化財合わせて 2 件です。県指定重要無形文化財の木工芸技術保持者として森田翠玉氏が、市指定重要無形文化財の木工芸技術保持者として川野正毅氏が認定されています。

## ○民俗文化財

民俗文化財は、有形の民俗文化財が 2 件、無形の民俗文化財が 15 件です。

有形の民俗文化財では、地域の風習や信仰に根付いた袖切地蔵や町恵比寿が、市指定重要有形民俗文化財に指定しています。

無形の民俗文化財では、重要無形民俗文化財に指定されている備中神楽があり、保存団体が行事で披露するほかに、子どもに教え継承する活動も行っています。県指定重要無形民俗文化財には、サガが太鼓を打ち音頭をとり、それに合わせて早乙女が苗を植える太鼓田植、藁蛇の



写真 2-4 太鼓田植【県】

製作、藁蛇に荒神を憑依させる行為や託宣を経て、田畠を駆け巡る行事などを行う矢戸の蛇かぐら神楽があります。また、中世の名主の団結行為が儀式化した宮座、後醍醐天皇の伝説と関係深いかいごもり祭、船川八幡宮の御神幸の警備に由来する御神幸武器行列、豊作を占うよはかり、御神幸の供奉樂として奉納される頭打ち、大蛇の靈を鎮めるため藁蛇を奉納する綱之牛王神社の蛇形祭などの祭礼関連行事が市指定重要無形文化財に指定しています。



写真 2-5 矢戸の蛇神楽【県】

### ○記念物

記念物は、国・県・市指定合わせて、遺跡（史跡）が 21 件、名勝地（名勝）1 件、動物・植物・地質鉱物（天然記念物）54 件です。



写真 2-6 大迫横穴墓群【市】

遺跡（史跡）では、県指定史跡に方谷庵が指定されており、これは山田方谷が外祖父母を祀るために建てた小庵です。また、縄文時代早期の洞窟遺跡である狼穴住居跡、古墳時代の大山古墳群や大迫横穴墓群、平安時代の地下式炭窯、中世に新見氏や三村氏の居城となったゆずりは城跡（櫻城跡）、多治部氏の居城である塩山城跡・脇嶽、戦国時代のたたら製鉄炉や鉋・銑鉄が出土した大山たたら遺跡、江戸時代の新見藩主関家の菩提寺である西来寺にある関長治・関政辰墓所、備中国と西の備後国との境に設置された国境標、二本松国境跡、山田方谷が亡くなった小阪部塾の跡地に開園された方谷園、若山牧水が宿泊した熊谷屋敷跡などが市指定史跡に指定しています。

名勝地（名勝）は、草間台地から落水し高梁川に流れ込む絹掛の滝が市指定名勝に指定しています。



写真 2-7 塩山城跡【市】

動物・植物・地質鉱物（天然記念物）では、高梁川の本流や支流に生育しているオオサンショウウオが特別天然記念物に指定されています。鍾乳洞の天井が崩落してできた羅生門やカルスト地形とサイフォンの原理によりできた草間の間歇冷泉、鯉が窪湿原に生育しているオグラセンノウやリュウキンカなどの大陸系・寒地性の希少植物の群落である鯉ヶ窪湿生植物群落が、天然記念物に指定されています。

本市と真庭市の一部にまたがるカルスト地形の阿哲台のうち、県内有数の規模を誇る裂か型の吸い込み穴の宇山洞と秘坂鐘乳穴、閉塞・断層裂か型の吐出穴の満奇洞、石灰岩の節理に沿う溶食作用でできた井倉洞や、阿哲台の成立過程を把握できる  
しまだけ縞嶽が県指定天然記念物に指定されており、その他に、天王八幡神社境内に生育するヒメボタルは金螢発生地として県指定天然記念物に指定されています。



写真 2-9 獅子山八幡宮  
のイチョウ【市】

また、県内でも有数の大きさや樹齢をもつ獅子山八幡宮のイチョウや利済寺の夫婦カヤ、三尾寺のスギ・ヒノキなどの寺社の境内林、鯉が窪湿原よりも湿原的要素が強いおもつぼ湿原、玄武岩の溶岩台地で形成された荒戸山、鍾乳洞の草月洞、新生代新第3紀中新世（約1600万年前）のサンゴが化石化したエダサンゴの化石含層、大野部川の川床や両岸のひん岩に穿たれた魚きり渕の甌穴、大椿寺開山の玄賓が残したという伝説があるコトブキノリ（アシツキ）、大佐山の龍王池のモリアオガエルなどが市指定天然記念物に指定しています。



写真 2-8 宇山洞【県】

## 2. 未指定文化財の概要とその他のにいみ遺産の概要

既存の調査や文献資料、市民へのアンケート調査、ワークショップの結果を反映し、参考資料にリストを掲載しています。本市で現在把握している未指定文化財とその他のにいみ遺産の件数は、令和7年8月現在4,458件です。

表2-2 未指定文化財とその他のにいみ遺産の件数

令和7年8月現在

文化財類型	区分（種別）	件数	主な内容
有形文化財	建造物	554	社寺建築、近代化建築、辻堂
	石造物	1,690	石塔、石仏、道標、燈籠
	美術工芸品	絵画	絵画
		彫刻	彫像
		工芸品	梵鐘、鏡、刀
		古文書	古文書
		考古資料	遺物
		歴史資料	新見藩関連史料、記念碑
無形文化財		3	和紙手漉技術など
民俗文化財	有形の民俗文化財	91	民具、祭礼道具、絵馬
	無形の民俗文化財	53	民謡、行事、祭り、食文化
記念物	遺跡（史跡）	1,402	古墳、城館、集落、製鉄関連
	名勝地（名勝）	26	滝、渓谷
	動物・植物・地質鉱物（天然記念物）	103	植物、鉱物、鍾乳洞
文化的景観		4	産業景観
伝統的建造物群		4	町並み
その他にいみ遺産		15	伝承、伝説、昔話、地名
合計		4,458	

### ○有形文化財（建造物）

有形文化財のうち建造物は、社寺建築が 71 件、辻堂が 206 件、近現代建築が 277 件です。社寺建築では、新見荘の代官を追放するため百姓たちが誓いを立てた場所である江原八幡神社や新見藩鎮守である船川八幡宮の青銅鳥居、また辻堂では庚申信仰による庚申堂などがあります。近現代建築では、旧太池呉服店店舗兼主屋があるほか昭和時代初期に建設された御茶屋橋や JR 姫新線の岩山駅舎などがあります。



写真 2-10 船川八幡宮の青銅鳥居

### ○有形文化財（石造物）

本市周辺が石灰岩の豊富な地域であることから石灰岩製の石造物が各所に多数あります。主なものには、石段積みの基壇上に宝篋印塔を建てた中世の新屋の塔（土橋）などがあります。その他に、花崗岩製では雲居寺に新見藩儒の丸川松陰の供養塔があります。

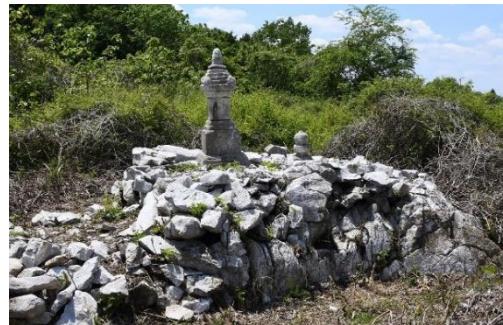


写真 2-11 新屋の塔

### ○有形文化財（美術工芸品）

絵画では湯児神社（大佐永富）の百人一首の絵馬や、彫刻では 12 世紀ごろに制作したとみられる大日堂の三如来坐像（豊永宇山）があります。古文書は各家々に残されており、中でも江戸時代、高瀬舟の航路管理の職に就いていた井上家は、河川航路の維持管理や継船制について文書を残しています。

また、歴史資料には与謝野鉄幹・晶子夫妻が本市を旅行した際に詠んだとされる短歌の歌碑や、植物学者の牧野富太郎が植物研究者で旧新見市名誉市民の白神寿吉に贈った歌を刻んだ白神葡萄の碑があります。

## ○無形文化財

神郷下神代地区に伝わる神代和紙手漉技術があります。また復興や再現したもので、法曽焼き製作技術とたら製鉄技術があります。



写真 2-12 神代和紙の手漉技術

## ○民俗文化財（有形の民俗文化財・無形の民俗文化財）

有形の民俗文化財では、船川八幡宮秋季大祭の湯立ての神事【市】で使用される 12 個の鉄釜などの祭礼道具や、生活や習俗に起因する道具（民具）が、地域に残されています。



写真 2-13 湯立ての神事の鉄窯

無形の民俗文化財では、農耕の神である、おいつき様を祀る御前神社（大佐布瀬）のおいつき祭り、的に矢を放ち、1 年の吉兆を占う天津神社（哲多町荻尾）の矢放ちの神事（墓目の祈禱）などがあります。



写真 2-14 矢放ちの神事（墓目の祈禱）

その他に、田植唄、木挽唄など労働の際に歌われる労作歌などの民謡や盆踊りがあり、地踊り保存会や歌い手たちが今に伝えています。

また、食文化には、塩鮓に酢飯を詰める鮓寿司、豆腐や大根、人参、ゴボウ、鶏肉などを油で炒め出汁で煮込んだけんちん汁やけんちんそば、タカキビを団子にして油揚げなどとだし汁に入れる野方汁などの郷土料理が受け継がれています。



写真 2-15 大成山たら遺跡群

岡山県古代吉備文化財センター提供

造物関連と製鉄関連が各々1割を占めています。遺跡（史跡）には、旧石器時代の野原遺跡群や16基の円墳からなる今見古墳群などがあります。また、本市では古墳時代から大正時代まで、たたら製鉄が行われており、古墳時代の上神代狐穴遺跡、平安時代から明治時代にかけて行われた大成山たたら遺跡、新見荘域内の鍛冶屋床遺跡などがあります。その他にも、鎌倉時代から室町時代にかけて築造された鬼山城跡や、新見荘の地頭方政所跡などがあります。

名勝地（名勝）では、丸川松隱が景勝地を選定し、それを基にした新見八景や、山田方谷の漢詩にも取り上げられた鳴滝（菅生）などがあります。

動物・植物・地質鉱物（天然記念物）では、高尾地区と西方地区に挟まれた高梁川の甌穴や大佐山から産出するヒスイ輝石、その他にイブキ（大佐田治部）やケヤキ（哲多町宮河内）などの巨樹・老樹や希少な好石灰岩植物などがあります。

### ○文化的景観

千屋地区や菅生地区などにおいては、砂鉄を採集する鉄穴流しの跡やそれにより出た土を利用した棚田があり、江戸時代のたたら製鉄でできた農村風景が見られます。

たたら製鉄が衰え、昭和時代に本市では石灰岩産業が主産業となりました。それにより、多くの場所で、切り崩された断面を露にした鉱山を見ることができ、本市の特徴的な産業景観といえます。



写真 2-16 石灰岩の鉱山

### ○伝統的建造物群

市街地では大正時代の建造物である旧太池呉服店店舗兼主屋や料亭などが並ぶほか、昭和初期の看板建築が残り近代の面影を今に伝えています。

### ○その他にいみ遺産

地域の個性や特色を伝えるものには、「後醍醐天皇伝説」「玄賓伝説」などの伝承や伝説、その後醍醐天皇伝説に関連する「位田」「赤馬」「馬繫」、たたら製鉄に関わる「鍛冶屋」

「<sup>る</sup>炉」などの地名があります。また、昔話の語り手であった賀島飛左は、600 話もの昔話を残しました。他に「てご」（手伝い）「はせる」（挟む）などの方言、ピオーネ、リンドウなどの地場産業などがあります。

### 3. その他の関連する制度

#### ○土木学会選奨土木遺産

（土木遺産の顕彰を通じて歴史的土木構造物の保存に資することを目的としたもの）

- ・井倉橋（室戸台風の災害復旧橋梁群）（平成 22 年度選奨）

昭和 9（1934）年の室戸台風による災害復旧橋梁。同 11（1936）年に竣工。

- ・用郷林道七曲り（令和元年度選奨）

石積のつづら折り林道で、明治 45（1912）年の建設当時のまま残っている。



写真 2-17 井倉橋

#### ○郷土記念物

（樹木及び地質鉱物で、県民に親しまれているもの

又は由緒あるものを岡山県が指定し、保護に努めている）

- ・野原の松並木（昭和 53 年 3 月 28 日指定）

戦後野原地区に入植した人たちが、防風林として残したもの。

- ・龍頭のアテツマンサク（昭和 58 年 3 月 25 日指定）

大正 3（1914）年、牧野富太郎が黒髪山（新見）で発見し、阿哲郡の郡名をとて「アテツマンサク」と命名した。



写真 2-18 アテツマンサク